

答え合わせ・解説

問1	答え 2 近畿地方	古都である京都や奈良、商業の中心地である大阪、港町である神戸などを擁し、西日本の経済や文化の中心となっている。
問2	答え 4 日本の最北端は択捉島である。	日本の四極（東西南北の端）を把握することは、日本の領域を理解する上で非常に重要です。北海道の北東に位置する北方領土は、択捉島、国後島、色丹島、歯舞群島の4つの島々から構成されています。この中で最も面積が大きく、かつ北緯約45度に位置し日本全体の最北端となっているのが択捉島です。これら北方領土は、1945年の第二次世界大戦終結直後から現在に至るまでロシア連邦によって法的根拠なく占拠されており、日本政府は返還を求めています。
問3	答え 3 択捉島	択捉島は北方領土の四島の中で最も北に位置し、面積も最大です。日本の主権が及ぶ範囲における最北端の地点はこの択捉島にあります。なお、北海道本島に近い順に、歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島と並んでいます。
問4	答え 1 周囲を海に囲まれた島国であり、遠方まで多くの離島が点在しているため	排他的経済水域は沿岸の陸地を基点として設定されるため、沖合に離島が存在することで、その島の周囲にも広大な水域が認められます。日本は四方を海に囲まれた島国であるだけでなく、沖ノ島や南鳥島のように、本土から遠く離れた場所に離島を保持していることが、陸地の面積を大きく上回る広大な水域を持つ最大の理由です。これにより、日本は多くの水産資源や海底資源を確保することが可能になっています。
問5	答え 4 水域内にある漁業資源や海底の鉱物資源を、自国が優先的に管理・開発することができる権利を持つため。	排他的経済水域（EEZ）は、沿岸から12海里（約22km）までの「領海」とは異なり、他国の船舶の航行などは認められていますが、その水域内の資源については沿岸国が独占的な権利を持ちます。日本は世界第6位の広さを持つこの水域により、水産資源や将来的な海底資源（メタンハイドレートなど）の確保において非常に有利な立場にあります。この権利を維持するため、沖ノ島島のような遠方の島々の保全も重要な国家課題となっています。
問6	答え 4 北方領土	択捉島、国後島、色丹島、歯舞群島の4島は「北方領土」と呼ばれ、歴史的にも一度も外国の領土となったことがない日本固有の領土です。これらは現在、ロシアによって法的根拠のない占拠が続けられていますが、島根県に属する竹島や、沖縄県に属する尖閣諸島とは位置や歴史的経緯が異なります。
問7	答え 3 その水域内にある水産資源や海底の鉱物資源を、自国で優先的に管理・利用することができる権利。	排他的経済水域（EEZ）は、沿岸から200海里までの範囲において、沿岸国が資源に対する主権的権利を持つ水域です。具体的には、魚介類などの水産資源や、海底に眠る石油・天然ガス・メタンハイドレートなどのエネルギー資源、鉱物資源の探査や開発を他国に邪魔されずに行うことができます。ただし、領海とは異なり、他国の船舶の航行や航空機の飛行を原則として禁止することはできません。
問8	答え 3 オーストラリアは日本と経度の範囲で重なる部分があるが、南半球に位置するため緯度の範囲は重ならない。	緯度は赤道を0度として南北の位（北緯・南緯）を示し、経度はイギリスの旧グリニッジ天文台を通る本初子午線を0度として東西の位（東経・西経）を示します。日本は北半球・東経の範囲に位置します。オーストラリアは東経の範囲にありますが南半球に位置するため、緯度範囲が重なることはありません。アメリカ合衆国は緯度は重なりますが西経の国であり、ブラジルは南半球かつ西経、イランは東経ですが日本より西側にあり緯度も異なります。
問9	答え 3 国後島と択捉島	北方領土の4島のうち、面積が約1489平方kmで2番目に大きいのは国後島であり、約3167平方kmで最も大きいのは択捉島です。最も面積が小さいのは約93平方kmの歯舞群島、2番目が色丹島という順序をあわせて覚えることで、島名と規模の関係を正確に判断できます。
問10	答え 3 排他的経済水域といい、その水域内の水産資源や海底資源を独占的に管理・開発できる。	海岸線から12海里までの「領海」とは別に、200海里までの範囲は「排他的経済水域（EEZ）」と定められています。この水域では、魚介類などの水産資源や、海底に眠る鉱物資源・エネルギー資源を沿岸国が優先的に調査・利用する権利が国際法（国連海洋法条約）によって認められています。日本は周囲を海に囲まれた島国であるため、国土面積に比べて非常に広い排他的経済水域を有しています。
問11	答え 2 行政運営の効率化のために市の下に「区（行政区）」を設置することが義務付けられており、都道府県から多くの権限が委譲されている。	政令指定都市は、円滑な行政サービスの提供を目的に、市域を分けた「区（行政区）」を設けることが法律で義務付けられています。また、教育委員会や社会福祉、都市計画などの分野において、本来は都道府県が行うべき事務を市が直接行うことができるため、地域の特性に応じた柔軟な都市経営が可能になります。
問12	答え 3 2,000m	縮尺は実際の距離を地図上に縮小して表した割合を示しています。2万5千分の1の地形図では、図上の長さを25,000倍することで実際の距離を求めることができます。計算式は「8cm × 25,000 = 200,000cm」となります。100cmが1mであるため、200,000cmをメートルに換算すると2,000m（2km）となります。
問13	答え 4 消防署	地形図において、二股の形をした「さすまた」の記号は消防署を表します。選択肢にある他の施設については、図書館は「開いた本」の形、郵便局は「〒」のマーク、官公署（市役所や町村役場など）は「○の中に◎」を描いた記号でそれぞれ表記されます。